

宮古労働基準監督署

・緊急建設業安全パトロール・

～災害増加に歯止めを～

県内の建設業における災害が増加していることを受け、**災害増加に歯止めをかけるため**宮古労働基準監督署と建設業労働災害防止協会沖縄県支部宮古分会は、10月1日建設業官民合同パトロールを実施しました。

パトロールには、同署職員と同分会安全指導者7人が参加して宮古島市内の建設現場を巡回し、墜落・転落防止対策な現場の安全管理について指導を行いました。

9月末の建設業の休業4日以上死傷災害は、県内131件（前年比+26件）です。宮古地区においては5件（前年比+5件）発生しており、前年「ゼロ」から大きく増加しています。更に、移動式クレーンの転倒災害も発生しています。また、今後の人材不足により現場管理者や作業員の不足による安全衛生対策への支障が懸念されます。このような状況を踏まえ、緊急に建設業安全パトロールを実施しました。

出発式



建築現場



現場点検の様子

